

ニコノ大會と名篇連続映
畫公開
◇マキノプロダクション特
作品◇右太衛門に代つて慧
星の人氣を獨占せる美男嵐
長三郎主演映畫初お見
得
篇鳴門秘帳 八
お十夜、天堂、周馬等は及
抜いて一齊に斬りかゝつた
一節切りの名人絃之丞の大
奮戦
杉村千恵子、藤間林太郎
瀨川銀沙共演

支那 南京玉哀曲 六卷
支那娘は悲しいな港出て
行く船を見てお國が戀し
いと泣きまじた南京玉ハ
ラハ
帝キノの迷優中村獅歌平、
岩井竹枝競演
劇線 子煩悩 六卷
盜賊、捕手は犯人、新
米盜賊大まごつき
順珍漢衫狂兒特意的快作
學生 週間苦行 九卷
二人は踊、一人は清元を
習つて娘を獲ようとした
果して彼等の戀は成熟し
たであらうか
二十九日より 有聲座

豚肉土曜日曜
割引提供
夏期の保健上榮養あ
る新鮮なる豚肉を召
上れ
豚肉割引値段
ロース百斤ニ付金六十錢
上肉同 金五十錢
並肉同 金四十錢
平町土橋通り電話三四四
大塚肉店
平劇場前 電話六六七
大塚亭肉店
御賣特に御相談いたします

御宴會 五品御銚子一本付金壹圓貳拾錢より
蒲燒 御一人前 金壹圓貳拾錢
うな井 金七拾錢
右の通り大勉強致します何卒御引立の
程願ひ上げます
大和家
南町(電話十四番)

牛の日(三十日)
牛肉大賣出
ヒレロース 壹圓
上ロース 八錢
中ロース 六錢
上肉 四十錢
御料理部
御一人前 ヒレナベ 五十錢
ロースナベ 四十錢
「石川自慢の牛肉」右の破格を以て今「牛の日」大賣出
仕候間陸續御注文の程願上候
平町田町
牛鳥肉 石川亭
御料理部 電話四三番

牛デー
マンチカツ 金十五錢
出前も致します
平町一丁目谷口通り
カフェータヒラ
電話六二〇番

新意匠の
戒名入提灯
御用命を待ちます
各種提灯商 スガノヤ提灯店
平町四丁目(電話七二二番)

霜降小倉
學生服大特賣
小學用
六七歳位 一、一〇〇
八九歳位 一、二〇〇
十歳位 一、三〇〇
十一二歳位 一、四〇〇
十三四歳位 一、五〇〇
中學用
二圓二十錢ヨリ各種
なかや洋服店
平二丁目(電話二〇三)

甘くて
滋養分の多い
ブドーアメ
平町十五丁目
發賣元 佐藤ブドーシ店
平驛構内賣
久保田パンヤ

脚氣、淋毒、梅毒、神經痛の
退痛散 特約店 大平屋藥店
平町一丁目
電話六四二番

切斷の苦しみなく
ゆびはれ、やけど
淋病、梅毒
さきさき、乳はれ
くさ、りうまぢす
其他化膿する一切
左記特約店にありますが御便利の所にて
御求めください
代理店 平町古鍛冶町
阿康藥店
特約店 石城郡四倉町驛前 佐藤川屋藥店
全全 店店

横森博士の推奨せる
其偉効眞に神の如く
定價……一圓五十錢、二圓
平町五丁目角 山野邊藥局



飛夕日九十二月七

井戸 瀧井孝作
上高畑に住んで、此家にはよい井戸があつてうはうしてゐる。表て水道が來てゐるのだが水道を引くも不用になる井戸が如何にも惜まれるからこのまゝにしてゐる。車井戸の汲み上げとかいふ、水道より不便ではあるが、きれいな夏つめたい水質は、とても比較にならない新鮮な感じだ。これが誠に有難い。此井戸水の味はまた格別だと思へるから、來客などには夏は

茶のかわりに上げたての水を出す例になつた。
小さい瓦葺屋根と丸太の柱四本立つた、井戸の構えを裏庭に見ることは、田舎びた悠くりしたものでまた有難い。その軒下は石だたみで少しかしいでへりは小溝である。妻は、炊事や洗濯などに澤山に汲み上げを。そして打あけては水排きのよい小溝である。ある日三歳になる娘が、この小溝のへりに腹這ひに寝て浅い流れを手でなでてゐたことがあつたが、「まあまたない」と子供を直ぐ引起したが、腹這ひに臥したそれは實に簡単に無邪氣に見え

て、井戸端の一つの畫として面白く記憶された。
こゝは大きい石垣の上にある屋敷だが、隣家と二軒あはせて昔は代官邸か何かの能舞台があつたと云はれ、いまの住居は建て直しのあばら家で、私共は來て滿一年もたらず詳しいことは知らぬが、屋敷はさういふ妨はあり井戸はわりと大きいからこれは昔からの井戸だらうと思はれる。覗くと水際までは三尋位で先日釣瓶を落して碇を入れたら水の深さはまた三尋もあつた。
(つづく)

定一部金貳錢 廣五號十二休日曜大祭
一ヶ月廿錢 廣一號一休日曜大祭
料五十五錢 廣一號一休日曜大祭
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常警毎日新聞社
電話六三〇番

日刊 一號行紙編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所 常警毎日新聞社

近來稀れな良校長

惜しまるゝその死

本社に寄せた書状

一 父兄の誠心こめた書状

近來稀れな良校長として生徒から慈父の如く親はれて居たのはもとより、一般父兄からも尊崇さるゝ事の篤かつた警城高等女學校校長櫻井賢文氏の訃は世間に非常な衝動を與へた「平町在住父兄より」の匿名を以つて本社に寄せられた左の書状に依つても如何に櫻井氏が一般より其死を惜しまれて居るかが充分に肯かされる

前略、警城高等女學校校長櫻井賢文先生の悲報に接し驚きと悲歎にくれて居ります、全教生徒並びに父兄は唯だ限りなき悲しみで沈んで居ります、せめては私ども父兄としてどうか生徒一人につき少くとも金五圓の御悔を差上げて御霊前に供へ御遺族に幾分の御慰めと致度同志のもの相談の上無名にて御社を通じて一般父兄諸氏に御相談旁々御願ひ申上げます、何卒何卒御社の皆様精々御盡力被下度與々御願ひ申上げます(平町在住父兄より)

故櫻井氏の

略歴と遺族

櫻井氏は石川縣石川郡金石町字本町卅八番地に生れ略歴左記の如くであつて

一、大正三年七月十日東京帝國大學文學科卒業

一、全年八月二十日熊本縣立球磨農業學校教諭

一、全年五月五日新潟縣立新發田中學校教諭

一、全七年八月二十一日

二年足りぬ

櫻井氏の在職年限は満三三年で恩給年限迄には二年を殘して居る爲め恩給を受ける事が出来ずその令息及び令嬢は何れも教育盛りである事を思ひ合すれば一層涙せざるを得ない

恩給年限に

櫻井氏の遺骸は本日午後七時茶屋に附し來月二日午後一時自宅出棺警城高等女學校庭に於て校葬を以て佛式の葬儀を執行する事になつた

本社から花輪 本社

櫻井氏校葬

來月二日に

少年犯罪者に對する活動映畫の影響如何

文部省の通牒に基づき

其筋で調査を始める

は故櫻井警女校長の地方教育界に項戴した功勞及び本社に對する生前の愛顧を謝する微意の一端として靈前の花輪を贈つた

文部省社會教育課では活動寫眞が善惡兩様の意味で教育上重大な關係あることを思ひ教育映畫作成使用のため春以來これが準備調査をすゝめていたが今度左記の一、各府縣および六大都市の映畫監督者の映畫に對する觀察

二、各府縣教育團體の映畫に對する觀察

三、少年犯罪者について映畫の影響調査

三項の調査方を各府縣に頼むことになり本縣にもこの程通知して来たので縣では映畫の内容、興行時間その他の現在興行制度や説明者樂手の状態

場内外の 設備附近のふん圍氣などが青少年の教育および一般社會におよぼす影響に對する施設制限

土用丑の日

海水行列車大増結

福島運輸事務所では明三十日の土用丑の日の海水浴客激増を早越して常磐線中村平間の各列車の大増結運轉をなす

果實類豊況

開花期の天候順調

石城郡地方における果實栽培は年々盛んになり郡農會等でも懸命に指導獎勵してゐる結果石城果實の聲價は最近とみにあがり中央市場において優良品として取引されるやうになつた殊に梨は信達地方のそれに劣らぬ優良品を生産してゐるが

手にとりて洗へばよい、拭ふ場合には硬くないタオル又はガーゼ手ふきなどでゆるやかに濕氣の残らぬやう拭ひ去るその後、クリームをよくすり込んで薄化粧ならばその上から軽くパフで叩いて置く。

胡瓜で顔を撫るのもよい化粧水にさへ「へちま



日焦けを防ぐ法

故に最も手取り早いのは一把の洗粉を洗面器に入れてよくとけたのを待つて出来ることならば更に洗粉を

非常に 好成绩で豊

間の卅萬圓小名濱の八萬圓久ノ濱の四萬圓を合せて四十二萬圓に上つてゐる、其他沿海の小舟漁獲を總計すれば本年の所記漁高は既に百萬圓を越ゆる十萬圓に及び不景氣をかこたれる中に石城各濱のみは全く近年にない活氣に満たされてゐる

床屋と酌婦

ドロロン

八日午後十時頃全條上遠野菊次郎と會飲中口論をはじめ五寸位の竹細工用の小刀を以て菊次郎の身体數ヶ所を刺し即死せしめ平署の手捕へられた

湯本區廢に 取消し命令

縣が町長の決議 穿き違へを指摘

本縣では湯本町の區會學令廢止は建議案の決議であつて區會廢止に就ての決議ではない、然るにこれに對して右町長が廢止の告示をなしたのには不當であると云ふ見地の下に昨廿八日これが告示の取消命令を發した

夏期講習會 縣立警

城中學校同窓會主催第四回受驗準備夏期講習會を二十五日から開催十五日續ける豫定であるが講習科目は英語國漢文數學で警中の教諭が講師に當つてゐる

腹鼓みの七濱漁師衆

石城は近年の豊漁つゞきて

漁獲既に百萬圓以上

本縣沖の鰹漁は益々豊漁で目下の漁場は小名濱東又は東南東七十乃至百七十海里で例年の今期頃は既に金華山沖に移動された魚群が尙向後暫らく前記海區に大漁見込充分で

之れが 爲最初各濱の同業漁船は左記の如く四十七艘の豫定であつたが本年は中型漁船まで同漁に出動し現在五十九艘に上つてゐる去る廿七日迄の最高漁は江名、豊間、四倉相並ん

最低で 五千圓を

一萬七千圓から一萬八千五百圓に達し

下らない一艘平均を一萬圓と見積る同漁高は現在六十萬圓に近く尙當年の豊漁は鰹ばかりでなく鱧の如きも本縣の豫想製産(鰹粕)七千俵を既に突破する大漁で之れが爲從來一俵(十二貫入)六圓を下らなかつたものが昨今五圓五十錢で尙買手薄を唱へ次いで大敷漁業もま

全條を殺す

内郷村雜夫の兇行

内郷村大字宮字平太郎川口飯場居住建築雜夫群馬縣吾妻郡伊貝村大字五反田字馬滑生れ福田淺吉(三)は昨廿